

みなへらまたでそう

通信 No.15

みなへら通信 第15号 2015年12月15日

ゼロ・ウェイスト宣言のまち、水俣から
ムリなく 楽チンに みんなで ごみへらし
みなまたスタイル情報紙

編集：ゼロ・ウェイスト円卓会議
発行：水俣市環境クリーンセンター

ちょっと待った！ それ、修理できるかも！

お気に入りの品が
よみがえる☆

第2弾！

今回は「九州まちの修理屋さん」に登録しているお店の中から「ウエダ靴店」を紹介します。

ウエダ靴店 上田高士さん TEL62-3789



エムズの近く、初恋通りにある「ウエダ靴店」さん。11月に修理場を店頭リニューアル！壊れていた革の財布を修理してもらいました。修理ついでにくたびれた財布を磨いていただき、ピッカピカに！ていねいな仕事にとってもうれしくなりました。靴だけでなく、バッグや財布など革製品の修理もしてもらえます。革ジャンを持ち込んだお客さんもいたとか…。



オーダーメイドで靴も作ってくれます。「気軽に修理や手入れにお持ちください！」と気さくな上田さんに、ぜひ会いに行ってみて下さいね。



「九州まちの修理屋さん」は、

九州7県で、修理を引き受けてくれるお店を登録し、
ものを長く使って廃棄物を減らそうという取り組みです。

熊本県（水俣市）の登録店は、熊本県HPでご覧いただけます。

http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_6203.html

「修理して長く使う」ことは、ものを簡単にごみにしない、ゼロ・ウェイスト（Z.W.）的な暮らし方の大切なポイントです。日本でZ.W.宣言をしている、徳島県上勝町、福岡県大木町、そして水俣市では、燃やしたり埋め立てたりするごみをゼロにする仕組みを作るために、それぞれのまちで、住民と協働で持続可能な地域づくりに取り組んだり、自治体の連携を進めたり、さらに日本だけでなく世界を巻き込むことをめざしながら、Z.W.を進めていこうとしています。新しく買う前に修理したり、もったいないBOXを利用したりと、身近な暮らしのなかで、ゼロ・ウェイストな選択をしていきませんか。



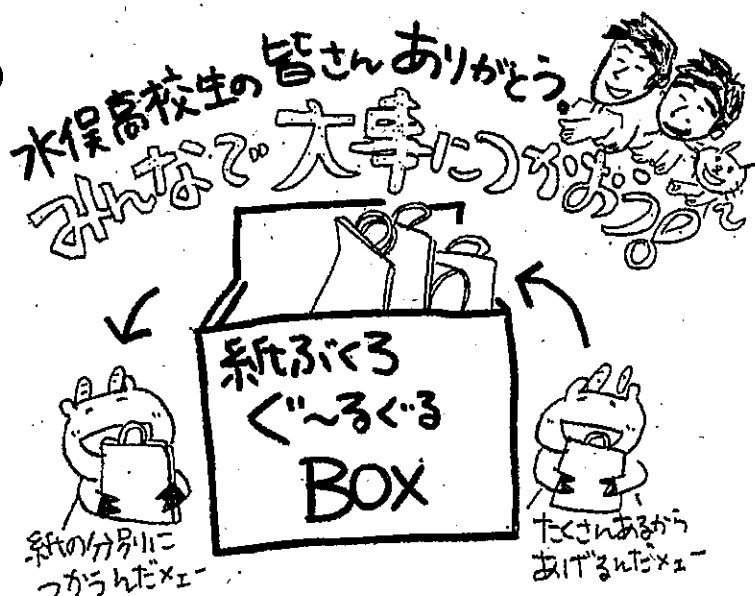
紙袋ぐ～るぐるBOX ができました！

もやい館と総合体育館に「紙袋ぐ～るぐるBOX」が設置されました。「その他紙類」の分別に便利な紙袋を、誰でも気軽に持ち寄り、持ち帰ることができます。紙袋をたくさんお持ちの方から必要な方にぐ～るぐる回して、紙の分別をすすめてみましょう。どんどん活用してくださいね！（おれんじ館には簡易型の紙袋BOXがあります）

紙袋ぐ～るぐるBOXの使い方

☆設置場所

もやい館：2階受付の斜め前／総合体育館：1階階段のうら



おうちに紙袋が余っている方は、ぐ～るぐるBOXに入れてください。大そうじでたくさん出てきた時なども、ぜひどうぞ！

「その他紙類」の分別に使う紙袋が必要な方は、ぐ～るぐるBOXからご自由にお持ちください。

紙袋ぐ～るぐるBOXは、市民と企業と高校生の協働によって実現しました。紙袋を使って気軽に紙が分別できるように、ごみ減量女性連絡会議がアイデアを出し、5つの株式会社（アクトビーリサイクリング、田中商店、水俣アスコン、木村、みなまた環境テクノセンター）に協賛いただき、水俣高校建築コース3年生が製作しました。

～もやい館・総合体育館・おれんじ館・武道館 での拠点回収が人気上昇中！～

みなへら13号で紹介した、「その他紙類」「容器包装プラ」の拠点回収をおこなっているこの4つの施設では、持ち込まれる資源の量が増加中。開館中はいつでも出せることが人気の秘密！

上記施設で回収している紙は、お菓子や薬などの空箱・包装紙・ラップ類の箱や紙芯・割り箸の袋などの「その他紙類」です。

雑誌、段ボール、新聞紙、チラシは、地域の資源の日などに出してくださいね。

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。バックナンバーは水俣市のホームページからもご覧いただけます。

みなへら通信

検索

お問い合わせ：水俣市環境クリーンセンター TEL 62-4101